

調査対象職員一覧表〔2日間タイムスタディ調査用〕

2日間タイムスタディ調査の調査対象となる職員の名前、年齢、性別、勤務形態、職名、保有資格、児童福祉施設での経験年数、当該施設での勤務年数、を記入してください。なお、事務局へ提出する際は、職員の名前をマスキング(黒く塗りつぶす)して提出してください。

施設ID	施設名称
------	------

職名番号	1:施設長	2:児童指導員	3:保育士	4:個別対応職員	5:家庭支援専門相談員	6:心理療法担当職員	
	7:職業指導員	8:看護師	9:医師	10:栄養士	11:調理員	12:事務職員	13:その他職員

(2日間タイムスタディ調査の調査開始日時点)

職員ID	職員の名前	年齢	性別	勤務形態	職名	保有資格	児童福祉施設での経験年数	当該施設での勤務年数
01~49の範囲	提出の際は、「職員の名前」欄をマスキング(黒く塗りつぶす)して提出してください。	2日間タイムスタディ調査開始日時点での年齢を記入してください。	男性か女性のいずれかを○で囲んでください。	常勤か非常勤のいずれかを○で囲んでください。	施設の最低基準等に規定されている職名を上記から選んで、番号を記入してください。	下記の資格に関し、当てはまるものすべての番号を○で囲んでください。 1:児童指導員 2:保育士 3:社会福祉士 4:社会福祉主事 5:教員免許 6:精神保健福祉士 7:臨床心理士 8:学会認定心理士等 9:管理栄養士 10:看護師	経験年数を6か月以上は切上げ、5か月以下は切捨てて記入してください。	勤務年数を6か月以上は切上げ、5か月以下は切捨てて記入してください。
例	みずほ A子	32 歳	男・女	常勤・非常勤	2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	6 年	4 年
01		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
02		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
03		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
04		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
05		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
06		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
07		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
08		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
09		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
10		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
11		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
12		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
13		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
14		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
15		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
16		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
17		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
18		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
19		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
20		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
21		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
22		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
23		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
24		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
25		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
26		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
27		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
28		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
29		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
30		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年

調査対象職員一覧表〔7日間タイムスタディ調査用〕

7日間タイムスタディ調査の調査対象となる職員の名前、年齢、性別、勤務形態、職名、保有資格、児童福祉施設での経験年数、当該施設での勤務年数、を記入してください。なお、事務局へ提出する際は、職員の名前をマスキング(黒く塗りつぶす)して提出してください。

施設ID	施設名称
------	------

職名番号	1:施設長	2:児童指導員	3:保育士	4:個別対応職員	5:家庭支援専門相談員	6:心理療法担当職員	
	7:職業指導員	8:看護師	9:医師	10:栄養士	11:調理員	12:事務職員	13:その他職員

(2日間タイムスタディ調査の調査開始日時点)

職員ID	職員の名前	年齢	性別	勤務形態	職名	保有資格	児童福祉施設での経験年数	当該施設での勤務年数
51~99の範囲	提出の際は、「職員の名前」欄をマスキング(黒く塗りつぶす)して提出してください。	2日間タイムスタディ調査開始日時点での年齢を記入してください。	男性か女性のいずれかを○で囲んでください。	常勤か非常勤のいずれかを○で囲んでください。	施設の最低基準等に規定されている職名を上記から選んで、番号を記入してください。	下記の資格に関し、当てはまるものすべての番号を○で囲んでください。 1:児童指導員 2:保育士 3:社会福祉士 4:社会福祉士 5:教員免許 6:精神保健福祉士 7:臨床心理士 8:学会認定心理士等 9:管理栄養士 10:看護師	経験年数を6か月以上は切上げ、5か月以下は切捨てて記入してください。	勤務年数を6か月以上は切上げ、5か月以下は切捨てて記入してください。
例	みずほ B子	32 歳	男・女	常勤・非常勤	2	①② 3・4・5・6・7・8・9・10	6 年	4 年
51		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
52		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
53		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
54		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
55		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
56		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
57		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
58		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
59		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
60		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
61		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
62		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
63		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
64		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
65		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
66		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
67		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
68		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
69		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
70		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
71		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
72		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
73		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
74		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
75		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
76		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
77		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
78		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
79		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年
80		歳	男・女	常勤・非常勤		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	年	年

調査対象職員の勤務シフト確認票〔2日間タイムスタディ調査用〕

2日間タイムスタディ調査の調査日を記入の上、調査対象となる職員（常勤＋非常勤）の調査開始日時から調査終了日時までの期間中の勤務開始時刻・終了時刻、当直開始時刻・終了時刻を記入してください。

施設ID	施設名称
------	------

※勤務終了時刻が翌日の0時以降となった場合は、当該時刻に24時間を加えて、表記してください(例: 当日10:00～翌日10:00⇒10:00～34:00)。
※当直の場合も同様に表記してください(例: 当日22:00～翌日6:00⇒22:00～30:00)。

職員ID 01～49の 範囲	勤務 当直	調査期間中の勤務開始時刻・終了時刻、当直の開始時刻・終了時刻を記入してください。												
		調査1日目				調査2日目								
		月 日		月 日		月 日		月 日						
		時 分	～ 時 分	時 分	～ 時 分	時 分	～ 時 分	時 分	～ 時 分					
例	勤務 当直	8 : 30	～	16 : 30	:	:	:	:	13 : 30	～	21 : 30	5 : 30	～	8 : 30
	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	21 : 30	～	29 : 30	:	～	:
01	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
02	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
03	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
04	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
05	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
06	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
07	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
08	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
09	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
10	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
11	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
12	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
13	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
14	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
15	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
16	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
17	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
18	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
19	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
20	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
21	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
22	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
23	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
24	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
25	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
26	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
27	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:
28	勤務 当直	:	～	:	:	:	:	:	:	～	:	:	～	:

アセスメント調査票

(世帯票)

本調査は2日間タイムスタディ調査の調査期間における対象世帯の状態を把握するものです。

<ご回答の方法>

1. ご記入に先立ち、説明資料「アセスメント票の記入要領【世帯票】」を必ずお読み下さい。
2. 本調査票には、2日間タイムスタディ調査の対象となった世帯の状態をご記入下さい。
3. 「施設ID（英数字5桁）」及び「母子ID（数字3桁）」は、調査対象母子一覧表に基づいてご記入下さい。
4. 不明点などにつきましては下記のコールセンターで受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い致します。
5. 回答が終わりましたら記載内容をご確認の上、貴施設で設定されたスケジュールに合わせて調査事務局までご返送下さい。

アセスメント調査票（世帯票）

施設ID

(5桁の英数字)

母子ID

(3桁の数字:世帯の母親のIDを記入してください)

I. 基本属性

当該世帯に関する基本属性を回答してください。

問1 世帯児童数

当該世帯の児童数を入力してください。

 人

問2 母親の年齢

貴施設への入所時の当該世帯の母親の年齢を以下の年齢階級から選んでください。

1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50歳以上

問3 貴施設への入所年月

当該世帯の貴施設への入所年月を入力してください。

西暦 年 月

問4 主たる入所理由

当該世帯の主たる入所理由を以下の項目から1つだけ選んでください。

1. 夫などからの暴力 2. 児童虐待 3. 入所前の家庭環境の不適切 4. 母親の心身の不安定
5. 職業上の理由 6. 住宅事情 7. 経済事情 8. その他 ()

※【夫などからの暴力】家庭内で夫や恋人などからの暴力被害、身体的に受ける暴力だけでなく、性的・心理的に苦痛をもたらす行為も含む。

※【児童虐待】父親、母親、又は双方からの児童虐待(身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待等)。

※【入所前の家庭環境の不適切】同居人との折合いが悪い、母子それぞれの友達が出入りして生活の場が失われている等。

※【母親の心身の不安定】母親が心身の病気のため児童に対する十分な監護を行えない場合等。

※【住宅事情】母子が一緒に生活するのに適当な住宅が得られない場合等。

※【経済事情】住居費等の支出を軽減し、稼得能力を増加させる等の経済的向上を支援する場合等。

問5 生活保護受給状況

当該世帯の平成20年〇月〇日現在での生活保護受給の有無を回答してください。

1. 有り 2. 無し

問6 母親の就業状況

当該世帯の母親の平成20年〇月〇日現在での就業の状況を以下の項目から1つだけ選んでください。

1. 事業主 2. 常用勤労者 3. 臨時・日雇・パート 4. その他就業 5. 未就業 6. 不明

問6-1 未就業の理由

【Q6で5を選択した場合】

主たる未就業の理由を以下の項目から1つだけ選んでください。

1. 技術を身につけるため講習・学校等に通って就業準備中 2. 乳幼児等の世話がある
3. 疾病がある、若しくは虚弱である 4. 精神的・身体的な障害がある
5. 児童に障害・疾病があり介護が必要 6. 求職中(条件にあった求人がない等)
7. 就労意欲がない・就労習慣が身につけていない 8. その他 ()

問7 退所の見込み

平成20年〇月〇日時点での当該世帯の退所の見込みを以下の項目から1つだけ選んでください。

1. 3か月以内に退所見込み 2. 1年以内に退所見込み 3. 適当な住宅さえあれば退所できる
4. 末子が年齢制限に達するまで退所困難 5. 現時点での退所見込みはない 6. その他 ()

問7-1 退所理由

(退所の見込みがある場合)

【Q7で1・2・3・4を選択した場合】

当該世帯の退所理由を以下の項目から1つだけ選択してください。複数の項目に該当する場合には、主たる理由を選択してください。

1.経済的自立度が高まったので	2.日常生活・身辺、精神的自立が高まったので
3.子どもの年齢が20歳を超したので	4.希望退所
5.再婚するので	6.復縁するので
7.住宅事情が改善したため	8.母子分離に至ったため
9.その他(具体的に: _____)	

問7-2 退所先(見込み)

【Q7で1・2・3・4を選択した場合】

当該世帯の具体的な退所先(見込み)を以下の項目から1つだけ選択してください。

1.入所時の母子を維持しての退所		Q 予定している退所先(見込み)			
		1.公営住宅	2.民間アパート	3.母親の実家	4.親族宅
		5.夫宅(再婚の場合)	6.夫宅(復縁の場合)	7.他の母子生活支援施設	
		8.その他(具体的に: _____)			
2.母子分離に至った場合の退所	母親	Q 予定している退所先(見込み)			
		1.公営住宅	2.民間アパート	3.母親の実家	
	4.親族宅	5.夫宅(再婚の場合)	6.夫宅(復縁の場合)		
	7.その他(具体的に: _____)				
	児童	1.他の児童福祉施設	2.父親宅	3.親族宅	4.里親宅
		5.その他(具体的に: _____)			

II. 母親の状況

現在の母親の状況を評価してください。

問8 情緒・行動上の問題状況(母親にかかわる事項)

母親にかかわる情緒・行動上の問題状況の各項目について、現在の母親の状態を[1.疑いなし/2.やや疑いあり/3.疑いあり/4.確かに問題あり/5.判断困難]のいずれかで評価してください。

	1.疑いなし	2.やや疑いあり	3.疑いあり	4.確かに問題あり	5.判断困難
1.家事能力の不足、家事への負担感 (掃除、洗濯、食事作り、栄養管理等健康保持を含む)	1	2	3	4	5
2.生活リズムの乱れ (昼夜逆転、極端な夜更かし、不規則な食事等)	1	2	3	4	5
3.計画的な消費など金銭管理 (借金、多重債務、金銭感覚の欠如等)	1	2	3	4	5
4.書類の理解、作成等識字に関する課題 (園や学校のプリントを読めない、役所の書類が理解できない等)	1	2	3	4	5
5.言葉、生活文化の違い等による課題	1	2	3	4	5
6.生育歴に依拠するもの (被虐待歴、親に愛されなかった思い、親への拒否感、望まない妊娠・出産、若年での出産等)	1	2	3	4	5
7.慢性疾患や障害 (日常生活に支障を及ぼす程度の慢性疾患、身体虚弱、知的障害、身体障害、精神障害等)	1	2	3	4	5
8.不定愁訴など心理面での訴え (不眠、偏頭痛等を含む)	1	2	3	4	5
9.依存傾向 (アルコール・薬物への依存、ギャンブル、買い物依存等)	1	2	3	4	5
10.自傷行為 (リストカット、自殺未遂等)	1	2	3	4	5

	1.疑いなし	2.やや疑いあり	3.疑いあり	4.確かに問題あり	5.判断困難
11. 摂食障害傾向 (拒食、過食、異食)	1	2	3	4	5
12. 抑うつ傾向 (継続的な落ち込み、食欲不振、自殺念慮等)	1	2	3	4	5
13. 性格上の問題 (攻撃的、衝動的、共感性の不足、自己中心的、虚言癖等)	1	2	3	4	5
14. 精神状態 (育児ノイローゼ、引きこもり、脅迫的な行動等)	1	2	3	4	5
15. 対人コミュニケーション上の問題 (集団不適應、被害感、思い込みが激しい、対人関係ストレス等)	1	2	3	4	5

問9 情緒・行動上の問題状況(母子関係にかかわる事項)

母子関係にかかわる情緒・行動上の問題状況の各項目について、現在の母親の状態を[1.疑いなし/2.やや疑いあり/3.疑いあり/4.確かに問題あり/5.判断困難]のいずれかで評価してください。

	1.疑いなし	2.やや疑いあり	3.疑いあり	4.確かに問題あり	5.判断困難
1. 子どもへの愛着形成の困難 (かわいいと思えない、受容できない、無関心等)	1	2	3	4	5
2. 育児・養育力(知識)の不足 (発達の理解不足、離乳食の作り方・入浴のさせ方の無知・事故が多い等)	1	2	3	4	5
3. 虐待傾向 (虐待及び厳しい体罰、罵声、病院に連れて行かない、健診・予防接種未受診等)	1	2	3	4	5
4. 密着、抱え込み状態 (子どもの行動束縛、親戚付合いや友達との交流をさせない、過保護・過干渉等)	1	2	3	4	5
5. 価値観の強要 (子どもより自分の欲求を優先、自分の価値観を押し付ける等)	1	2	3	4	5
6. 母子の逆転 (子どもへの過度の依存、子どもが母親に命令する等)	1	2	3	4	5

問10 障害者手帳所持の状況

母親の障害者手帳所持の状況について、以下の設問に回答してください。

身体障害者手帳	1. 所持(1級)	2. 所持(2級)	3. 所持(3~6級)	4. 未判定(申請中)	5. 無し
療育手帳(知的障害者福祉手帳)	1. 所持(重度)	2. 所持(中度)	3. 所持(軽度)	4. 未判定(申請中)	5. 無し
精神障害者保健福祉手帳	1. 所持(1級)	2. 所持(2級)	3. 所持(3級)	4. 未判定(申請中)	5. 無し

※療育手帳の障害程度区分は自治体によって異なりますが、ここでは所持している場合には「重度、中度、軽度」の3区分とします。「最重度」区分が存在する場合は「重度」に含めてください。

問11 定期的な通院の状況等

母親の定期的な医療機関への通院の状況等について、以下の各設問に回答してください。

		ありの場合 通院回数 (過去1年当たり)	ありの場合 服薬状況
1. 精神科・心療内科への通院有無	1. あり 2. なし	回	
2. 精神科・心療内科での投薬の有無	1. あり 2. なし		1. あり 2. なし
3. 精神科・心療内科以外の診療科への通院有無	1. あり 2. なし	回	
4. 精神科・心療内科以外の診療科での投薬の有無	1. あり 2. なし		1. あり 2. なし

問 12 心理療法の状況

母親の心理療法の状況について、以下の各設問に回答してください。

1. 施設における心理療法の実施有無	1. あり	2. なし	
2. 施設外における心理療法の実施有無	1. あり	2. なし	
3. 心理療法の必要性	1. あり	2. なし	3. 判断困難

III. 世帯のケアニーズに対する充足状況**問 13 ケアニーズの充足状況に関する評価**

当該世帯のケアニーズはどの程度充足されていると考えますか。現状の職員数、施設状況等といったサービス提供体制上の制約がないものとして評価してください(あてはまる番号1つに○)。

充足されている	ほとんど充足されている	あまり充足されていない	充足されていない
4	3	2	1

※問26で2または1を選択した場合にのみお答えください。

問 13-1 不足しているケアの内容

当該世帯にとって不足しているケア内容として優先順位の高いものを3つまでお答えください。

1. 身の回りのケア	2. 愛着形成、コミュニケーション
3. 学習支援	4. 個別指導・面接
5. 専門的な心理ケア	6. 専門的な医療ケア
7. 自立支援に関するケア(就労、進学、自活等)	8. 家族再統合に向けてのケアやファミリーソーシャルワーク
9. 関係機関との連携	10. その他 ()

問 13-2 どのような環境が整えば当該世帯のケアニーズに対する充足度を高めることができるとお考えですか。自由に記入してください(例:職員数の増加、職員のスキルアップ、母子分離 等)。

世帯票の設問は以上です。記入漏れがないか再度ご確認ください。
調査にご協力いただきありがとうございました。

アセスメント調査票

(就学前児童用)

本調査は2日間タイムスタディ調査の調査期間における対象世帯(児童)の状態を把握するものです。

<ご回答の方法>

1. ご記入に先立ち、説明資料「アセスメント票の記入要領【就学前児童用】」を必ずお読み下さい。
2. 本調査票には、2日間タイムスタディ調査の対象となった世帯の就学前の児童全員の状態をご記入下さい。
3. 「施設ID(英数字5桁)」及び「母子ID(数字3桁)」は、調査対象母子一覧表に基づいてご記入下さい。
4. 不明点などにつきましては下記のコールセンターで受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い致します。
5. 回答が終わりましたら記載内容をご確認の上、貴施設で設定されたスケジュールに合わせて調査事務局までご返送下さい。

問7 家庭復帰の見通し

当該児童の家庭復帰の見通しについて以下の項目から1つ選んでください。

1. 家庭復帰の見込み有り	2. 当面の家庭復帰の見込みはないが、復帰に向け調整中
3. 家庭復帰困難又は見込み無し	4. 判断困難
	5. 親(主たる保護者)がいない

問8 面会・外出・外泊の状況

面会・外出・外泊の有無及び有りの場合の頻度について回答してください。

面会の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1か月に () 回	又は1年に () 回
外出の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1か月に () 回	又は1年に () 回
外泊の有無	1. 有り	2. 無し	有りの場合の頻度	1年に () 回	

問9 退所予定の有無

調査時点において当該児童の具体的な退所予定があれば記入してください。

1. 退所予定有り	Q 予定時期	西暦 _____ 年 _____ 月 頃
	Q 予定している行き先	1. 保護者宅 2. 親戚宅 3. 里親宅 4. 知人・友人宅 5. 乳児院 6. 児童養護施設 7. 情緒障害児短期治療施設 8. 児童自立支援施設 9. 母子生活支援施設 10. 他の児童福祉施設 () 11. 医療機関 12. その他 ()
2. 退所予定無し		

II. 親(主たる保護者)の状況

親(主たる保護者)がいない場合は、「III. 児童の状況」へ進んでください。

問10 親(主たる保護者)の状況

当該児童の親(主たる保護者)の状況および続柄を記入してください。

1. いる	Q 続柄(あてはまるもの全てに○)	1. 実父 2. 実母 3. 養(継)父 4. 養(継)母 5. 祖父 6. 祖母 7. 兄弟姉妹 8. 義兄弟姉妹 9. 伯(叔)父 10. 伯(叔)母 11. 里親 12. その他 ()
	2. いない	2. いない =「III. 対象児童の状態」にお進みください(問11はとばしてください)。

問11 養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況

親(主たる保護者)の養育に関する問題及び保護者対応の困難さの状況についてそれぞれ回答してください。

人格障害傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※人格障害傾向の診断や疑いが見られる場合等。
抑うつ傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※抑うつ傾向が1週間以上続いている場合等。
アルコール乱用・依存	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※飲酒により仕事や家事ができないことがある場合等。
薬物乱用・依存	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※麻薬、覚醒剤、シンナー、精神治療薬、鎮痛剤等の乱用・依存
子どもへの愛着形成の困難	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	※かわいいと思えない、受容できない、無関心等
不安傾向	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
パニック障害	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
統合失調症の疑い	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
知的障害	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
施設の指導に従わない	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
クレームが多い	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	
長時間の電話や頻回の来園(クレーム以外の相談等)	1. 有り	2. 無し	3. 判断困難	

Ⅲ. 対象児童の状態

現在の状態を評価してください。

問 12 出生時の状況

当該児童の出生時の状況について記入してください。

出生時体重	1. () グラム	2. 不明
在胎週数 36 週以前の早期での出産	1. はい () 週 () 日	2. いいえ 3. 不明
修正年齢 ※乳児期のみ	() 歳 () ヶ月	
出産後の問題	Q 具体的な内容 (当てはまるもの全てに○)	
	1. 有り	1. 保育器の使用 2. 2 週間以上の入院 3. 発育不全 4. 先天性の異常 5. その他 ()
	2. 無し	
疾患および障害関連の問題	1. 有り (疾患および障害名:) 2. 無し	

問 13 身体、発育の状態

調査時点における当該児童の体重と身長を記入してください。(小数第 1 位まで)

身長	. cm
体重	. kg

問 14 栄養状態

調査時点における当該児童の栄養状態を記入してください。

哺乳・離乳食等の形態	1. ミルクのみ 2. ミルクに加え離乳食を開始している 3. 離乳食は完了した(幼児食) 4. その他 5. 判断困難
摂食の状態	1. 問題無し
	Q 具体的な状況 (あてはまるもの全てに○)
	1. 小食 2. 過食 3. 拒食 4. 異食 5. 偏食 6. 食事に時間がかかる
	3. 判断困難

問 15 発達状況 (現在の状態を評価)

(デンバー式発達スクリーニング検査およびデンバー式発達判定法に基づく。記入要領を参照ください。)

粗大運動に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
微細運動に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
言語的発達に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り
社会的発達に	0. 判断困難	1. 疑い無し	2. やや疑い有り	3. 疑い有り	4. 遅れ有り

問 16 日常生活能力の発達 (現在の状態を評価)

現在の児童の状態を[1.年齢以上/2.年齢相当/3.やや遅れている/4.遅れている/5.判断困難]のいずれかで評価してください。評価の基準については記入要領を必ずご参照ください。

	1.年齢以上	2.年齢相当	3.やや遅れている	4.遅れている	5.判断困難
日常生活能力の発達(あてはまる番号 1 つに○)	1	2	3	4	5

問 17 知能および発達検査結果（最新の数値を記入）

検査年月日（最新）	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日
知能指数 (IQ)	_____
発達指数 (DQ)	_____
検査の種類 (上記の検査種類)	1. WISC-Ⅲ知能検査 2. 田中ビネー知能検査 3. 新版K式発達検査 4. 津森・稲毛乳幼児精神発達検査 5. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法 6. その他 (_____)

問 18 情緒・行動上の特徴（現在の状態を評価）

現在の児童の状態を[0.評価対象外/1.疑い無し/2.やや疑い有り/3.疑い有り/4.確かに問題有り/5.判断困難]のいずれかで評価してください。評価の基準については記入要領を必ずご参照ください。

	0.評価対象外	1.疑い無し	2.やや疑い有り	3.疑い有り	4.確かに問題有り	5.判断困難
1. 自閉的傾向 (人に対して反応しない、視線が合わない等)	0	1	2	3	4	5
2. 養育者との関係性 (なつかない、過度の反抗、養育者への暴力等)	0	1	2	3	4	5
3. 注意欠陥・多動傾向 (落ち着かない、過度の注意散漫等)	0	1	2	3	4	5
4. 反社会的行動傾向 (いじめ、過度なけんか、嘘、性的問題、窃盗等)	0	1	2	3	4	5
5. 抑うつ傾向 (継続的な落ち込み、食欲不振、自殺念慮等)	0	1	2	3	4	5
6. 学習障害傾向 (特異的な読み書き・計算の問題)	0	1	2	3	4	5
7. 自傷行為 (抜毛、頭打、リストカット、自殺未遂等)	0	1	2	3	4	5
8. 集団不適合 (不登校、学校等でのいじめられ、孤立、反抗等)	0	1	2	3	4	5
9. 排泄問題 (夜尿、遺糞など)	0	1	2	3	4	5
10. 摂食障害傾向 (拒食、過食、異食など)	0	1	2	3	4	5
11. 睡眠問題 (不眠、過眠など)	0	1	2	3	4	5
12. 言語能力の発達遅延・障害	0	1	2	3	4	5
13. 知的障害	0	1	2	3	4	5
14. 施設内における他児へのいじめ	0	1	2	3	4	5
15. 施設内における他児からのいじめ	0	1	2	3	4	5

問 19 被虐待体験の有無

当該児童の入所前の被虐待体験の有無を回答してください(現在認識しているものについて回答)。

1. 有り	2. 疑い有り	3. 無し
-------	---------	-------

問 19-1 虐待の種類

【被虐待体験有りの場合】当該児童が虐待を受けた種類を以下の項目の中から選んでください(複数回答)。

1. 身体的虐待	2. 性的虐待	3. ネグレクト	4. 心理的虐待	5. その他	6. 判断困難
----------	---------	----------	----------	--------	---------

問 20 定期的に通院している疾患、障害名および通院回数等

1. 無し				
2. 有り (以下にも回答してください)				
疾患名・障害名 ※記入要領参照	通院中の診療科 ※記入要領参照	通院回数 (過去1年当たり)	服薬状況	
[]		回	1. 有り	2. 無し
[]		回	1. 有り	2. 無し
[]		回	1. 有り	2. 無し

問 21 精神科への入院経験

1. 有り	2. 無し	3. 不明
-------	-------	-------

問 22 精神疾患・精神障害の状況 当該児童の精神障害の状況について、医師の診断、または疑いが有るか否かを回答してください。

1. 診断有り	2. 疑い有り	3. 無し
---------	---------	-------

問 22-1 精神疾患・精神障害の状況

【診断有り又は疑い有りの場合】当該児童の精神疾患・障害の状況について回答してください。

発達障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※精神遅滞、学習障害、広汎性発達障害、発達性協調運動障害、コミュニケーション障害(首領障害、吃音等)等
行動障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※注意欠陥・多動性障害、行為障害、反抗挑戦性障害等
不安障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※パニック障害、全般性不安障害、強迫性障害、外傷後ストレス障害、恐怖性障害、分離不安障害、反応性愛着障害、解離性障害、転換性障害、その他身体表現性障害等
気分障害系	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※大うつ病性障害、気分変調性障害、双極性障害等
その他の精神障害	1. 確定診断有り	2. 疑い有り	3. 判断困難	※摂食障害、排泄障害、選択性緘黙、常同運動障害、性障害及び性同一障害、睡眠障害、人格障害、統合失調症、その他の精神障害

問 23 当該児童の障害者手帳の所持状況

当該児童の障害者手帳所持の状況について、以下の設問に回答してください。

身体障害者手帳	1. 1級	2. 2級	3. 3～6級	4. 未判定(申請中)	5. 無し
療育手帳(知的障害者福祉手帳)	1. 重度	2. 中度	3. 軽度	4. 未判定(申請中)	5. 無し
精神障害者保健福祉手帳	1. 1級	2. 2級	3. 3～6級	4. 未判定(申請中)	5. 無し

※療育手帳の障害程度区分は自治体によって異なりますが、ここでは所載している場合には「重度、中度、軽度」の3区分とします。「最重度」区分が存在する場合は「重度」に含めてください。

問 24 家族への支援状況

当該児童の家族等に対する面接や家庭訪問など継続的な家族支援の状況について記入してください。

実施実績	1. 有り	2. 無し
------	-------	-------

問 25 養育問題のある子どものためのチェックリスト (Checklist for Maltreated Infant:CMTI)

※年齢に応じたチェックリストを使用してください。

記入上の注意

以下の要領にしたがって質問紙に記入して下さい。

1. 各項目には選択肢が用意されています。あてはまる選択肢の番号に○をつけて下さい。
2. あまり深く考えず、普段の印象をお答え下さい。
3. 質問項目には全てお答え下さい。

問 25 生後6か月から2歳未満児用

1. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「n」とお答えください。

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
1	ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2	些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	n
3	急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4	普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	n
5	夜泣きが激しい	1	2	3	4	n
6	感情の起伏が激しい	1	2	3	4	n
7	ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

2. お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
8	表情が乏しい	1	2	3	4	n
9	大人と関わろうとしない	1	2	3	4	n
10	「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
11	生き生きとしている	4	3	2	1	n
12	友達と仲良く遊ぶ	4	3	2	1	n
13	慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14	ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
15	「特別な大人」に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	n
16	突然固まって、ぼーっとした表情をする	1	2	3	4	n
17	嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
18	いつもいらいらしている	1	2	3	4	n

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
19	遊びに集中できない	1	2	3	4	n
20	悲しそうにしている	1	2	3	4	n
21	笑顔が少ない	1	2	3	4	n
22	凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
23	大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	n

3. お子さんには次のようなことがありますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
24	人のものをとったりする	1	2	3	4	n
25	ぐずることが多い	1	2	3	4	n
26	床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	n
27	すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n

問 25 2歳から6歳未満児用

1. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「n」とお答えください。

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
1	ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2	ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってボーっとしていることがある	1	2	3	4	n
3	急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4	親が「出来ていた」と言うことでも出来なくなっていることがある	1	2	3	4	n
5	寝つきが悪い	1	2	3	4	n
6	周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

2. お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
7	表情が乏しい	1	2	3	4	n

		無い	たま に有 る	有る	よく 有る	年齢 的に 不可 能
8	嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、「特別な大人」に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	n
9	「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
10	危ないことを平気でする	1	2	3	4	n
11	表情が明るい	4	3	2	1	n
12	「特別な大人」の言うことを素直に聞く	4	3	2	1	n
13	慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14	すぐに「特別な大人」に頼る	1	2	3	4	n
15	依存心が強い	1	2	3	4	n
16	大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	n
17	誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	n
18	ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
19	「特別な大人」に抱かれていても、遠くをポーッと見ている	1	2	3	4	n
20	突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
21	嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまうたり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
22	「特別な大人」を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	n
23	過度に警戒している	1	2	3	4	n
24	常に緊張している	1	2	3	4	n
25	いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
26	遊びに集中できない	1	2	3	4	n
27	悲しそうにしている	1	2	3	4	n
28	笑顔が少ない	1	2	3	4	n
29	年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	n
30	凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
31	目をあわせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	n
32	自分から甘えてくることが少ない	1	2	3	4	n
33	甘え方が下手である	1	2	3	4	n
34	次々に別の大人を求める	1	2	3	4	n
35	視線を合わせるが少ない	1	2	3	4	n
36	ちょっとしたことで固まってしまう	1	2	3	4	n
37	「特別な大人」を求めてくるがすぐに他に向かう	1	2	3	4	n
38	「特別な大人」を求めているながら、ちょっとした事で避けてしまう	1	2	3	4	n

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
39	ひとりの大人と集中して遊べない	1	2	3	4	n
40	特定の大人との強いかかわりができない	1	2	3	4	n

3. お子さんには次のようなことが有りますか？

		無い	たまに有る	有る	よく有る	年齢的に不可能
41	人のものをとったりする	1	2	3	4	n
42	友達と仲良く遊ぶ	4	3	2	1	n
43	気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	n
44	ミルクや食事の量や速度にムラがある	1	2	3	4	n
45	活動が激しい時と遅い(おとなしい)時があり、一定しない	1	2	3	4	n
46	興奮するととめることが出来ない	1	2	3	4	n
47	気に入らないと通常以上に激しく泣く	1	2	3	4	n
48	泣き出すとなかなか止まらない	1	2	3	4	n
49	ぐずることが多い	1	2	3	4	n
50	かんしゃくが多い	1	2	3	4	n
51	かっとなると暴力的になる	1	2	3	4	n
52	一つの行動から他の行動への切り替えがうまくいかない	1	2	3	4	n
53	大きな音を怖がる	1	2	3	4	n
54	大きな声で話す傾向がある	1	2	3	4	n
55	注射などを極端に嫌がる	1	2	3	4	n
56	転びやすい	1	2	3	4	n
57	不安定な場所を好む	1	2	3	4	n
58	ボール投げが年齢相応に出来ない	1	2	3	4	n
59	危険を顧みず、高いところに上ったり、飛び降りたりする	1	2	3	4	n
60	すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n
61	他人をもものように扱う	1	2	3	4	n
62	その場にあったことと表情が一致していない	1	2	3	4	n
63	友だちにやさしい	4	3	2	1	n
64	ルールが守れない	1	2	3	4	n
65	よくけんかをする	1	2	3	4	n

		無い	たま に有 る	有る	よく 有る	年齢 的に 不可 能
66	友だちに暴力を振るう	1	2	3	4	n
67	人のものをもって自分のテリトリーにためておく	1	2	3	4	n
68	小さい子に暴力を振るう	1	2	3	4	n
69	大人の言うことにことごとく反抗する	1	2	3	4	n
70	他の子をいじめる	1	2	3	4	n
71	力の強い子に支配されやすい	1	2	3	4	n
72	想像力が豊かである	4	3	2	1	n
73	力の強い人と弱い人に対する態度が全く違う	1	2	3	4	n
74	年齢不相応に性的な言葉を発する	1	2	3	4	n
75	汚い言葉を多用する	1	2	3	4	n
76	ものの扱いが乱雑である	1	2	3	4	n
77	非常に衝動的な行動をする	1	2	3	4	n
78	ストーリーのある遊びができる	4	3	2	1	n
79	集中力がない	1	2	3	4	n
80	遊びが次々に変わる	1	2	3	4	n
81	ままごとを楽しくできる	4	3	2	1	n

IV. 児童のケアニーズ 等

問 26 ケアニーズの充足状況に関する評価

当該児童のケアニーズはどの程度充足されていると考えますか。現状の職員数、施設状況等といったサービス提供体制上の制約がないものとして評価してください(あてはまる番号1つに○)。

充足されている	ほとんど充足されている	あまり充足されていない	充足されていない
4	3	2	1

※問26で2または1を選択した場合にのみお答えください。

問 26-1 不足しているケアの内容

当該児童にとって不足しているケア内容として優先順位の高いものを3つまでお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 身の回りのケア | 2. 愛着形成、コミュニケーション |
| 3. 学習支援 | 4. 個別指導・面接 |
| 5. 専門的な心理ケア | 6. 専門的な医療ケア |
| 7. 自立支援に関するケア(就労、進学、自活等) | 8. 家族再統合に向けてのケアやファミリーソーシャルワーク |
| 9. 関係機関との連携 | 10. その他 () |

問 26-2 どのような環境が整えば当該児童のケアニーズに対する充足度を高めることができるとお考えですか。自由に記入してください(例：職員数の増加、職員のスキルアップ 等)。